

お 知 ら せ

(送配電カンパニー関係)

2019年11月6日

東北電力株式会社

今冬の需給見通しについて

今冬の電力需給対策については、電力広域的運営推進機関による需給検証を経て、本日、経済産業省の電力・ガス基本政策小委員会において取りまとめられました。

この取りまとめの中で、当社エリア（東北6県と新潟県）の今冬の需給見通しについては、至近10年で最も厳寒となった年（12月は2012年度、1・2月は2017年度）と同程度の気象条件となった場合であっても、下表のとおり、電力の安定供給に最低限必要とされる予備率3%を確保できる見通しとなっております。このため、同省からの節電要請はなされておられません。

【2019年度 今冬の需給見通し（供給予備率）】

	12月	1月	2月
2019年度 見通し	10.8%	6.8%	6.6%

当社といたしましては、震災以降、高稼働を続けている火力発電所の予期せぬトラブルによる停止や、厳寒による電力需要の急激な増加など、不測の事態が発生するリスクはあるものと考えております。引き続き緊張感を持って設備の運転・保守にあたり、安定供給に万全を期してまいります。

以 上

【添付資料】

(参考資料) 当社エリアにおける今冬の需給見通しについて